

令和4年度 第4回八王子市多文化共生推進評議会 議事要点録

開催方法	オンライン会議による開催
開催日時	令和5年(2023年)2月3日(金) 午後6時~7時30分
出席者	森茂座長、遠藤評議員、大塚評議員、奥野評議員、柴山評議員、ドミー評議員、花輪評議員
配布資料	評議会次第 資料1 「第2期多文化共生推進プラン」の素案に対するパブリックコメント実施結果について 資料2 第2期多文化共生推進プラン(案) 資料3 令和4年度外国人留学生支援事業について 資料4 令和5年度多文化共生推進事業に関する予算案について

1. 第2期多文化共生推進プラン策定について

- ・多文化共生のコーディネータ的な役割を持つ人は、これから益々重要性が増していくと思う。コーディネータの役割は、地域の多様な人材やコミュニティなどをつなげて、多文化共生社会の実現に貢献すること。こういった人材は八王子国際協会にもおり、活用することができると思う。
- ・外国にルーツを持つ児童生徒の中には、日本語での会話などは問題なくできるように見えるが、受験勉強になると苦戦してしまう子が多い。普通制の高校では外国にルーツ持つ生徒の割合が低いという報道もあった。受験等を見据えた学習支援のようなものがニーズとしてあるのではないか。
- ・八王子国際協会では進路相談に対応しているが、相談の数の何倍も悩みを持つ児童・生徒・家族がいるのが現状だと思う。日本語学級の先生からも大変だという話を聞いている。八王子国際協会も、外部団体として今後さらに連携を強めていけたら。
【事務局の回答】
市には外国籍等児童生徒就学時支援連絡協議会という教育委員会が事務局の会議があり、関連の所管・団体が情報交換等で参加をしている。その中でも、対象となる児童・生徒が増えているという話が出ている。
- ・アメリカでは入学枠の決まった割合を特定の民族・人種を割り当てるというアファーマティブアクションのような制度がある学校もある。積極的な方向性の施策も必要なのではないか。
- ・施策 No.22「国際協力の推進」について。八王子市には JICA 関連で国際協力に携わった人が多い印象がある。それを活かして、国際協力について話を市民に伝える機会を増やすことができたらいいと思う。多文化共生を進めるためには、マジョリティである日本人市民が、共生を生活の中で感じ、考えることが大切だと思う。そういう場面を増やすことができれば。

- ・施策 No.22 番「国際協力の推進」の記載内容について、JICA と市と一緒に国際協力を進めるという方向性の書き方はできないか。さまざまな業績もあると思うが。

【事務局の回答】

ごみ減量対策課ではミクロネシアのごみ問題の解決に向けた活動を行っていた。海外からの視察の受け入れについても随時行っている。青年海外協力隊で本市と関連がある隊員は、派遣・帰国に際して市役所を訪問してくれている。記載内容については、評議員の言う方向性で修正を検討したい。

- ・新しいプランは、今後どのように市民に周知されるのか。

【事務局の回答】

各事務所・各市民センター等の市の施設、市のホームページにてご覧いただけるようにする。概要版も多言語で作成する。

2. 令和4年度外国人留学生支援事業について

- ・市で行っている留学生支援制度は、留学生はどのように知ることができるのか。また、地域活動と留学生をどう結び付けているのか。

【事務局の回答】

留学生には、各大学、各日本語学校を通して周知している。地域活動については、コロナ下でなかなか活動が増やせていない。何か皆さんのつながりの中でマッチングできそうな地域活動があれば、市に情報提供をお願いしたい。

- ・日本語能力試験受験料補助金については、交付の合格レベルを N2 にしてほしい。N1 ではレベルが高すぎるのではないか。

3. 令和5年度多文化共生推進事業に関する予算案について

- ・海外都市との交流については、対面による交流の再開が見込まれている。具体的な計画はどのようなものか。

【事務局の回答】

ドイツ・ヴリーツェン市との交流については、市民団体による現地での桜の植樹計画が進行中。ヴリーツェン市がセレモニーを開催予定であり、それに合わせて八王子市から訪問団を派遣する計画がある。また、市民団体を中心にツアーの企画がある。

台湾・高雄市との交流では、例年、八王子まつりの際に政府の訪問団、パフォーマンス団にお越しいただいている。また、高雄市のランタンフェスティバルに本市のパフォーマンス団の派遣を行っている。八王子まつりの中止で相互の派遣はストップしていたが、令和5年度に再開予定である。